

2023年度 学校関係者評価報告書

学校名：東海工業専門学校金山校

1 学校目標

- ・地域社会貢献のための新事業の検討
- ・教職員の意識、行動の更なる活性化
- ・目標、プロセスの見える化の推進
- ・経営の効率化
- ・広報力の強化
- ・国際化の取り組み

学校目標に対する評価・意見

- ・全体的には適正な評価をしており、学校目標に対して高く評価できる。
- ・学校の設備・体制・運営等、すべての面で学生本位となっており、高く評価できる。
- ・広報力強化について、女子学生の入学増加を意識した校内設備整備（パウダールーム）を実施しており、その取り組みについて評価できる。
- ・在学中の一級建築士受験に対応するカリキュラム（コース制）は高く評価できるとともに期待したい。
- ・学生の人間力向上のためには、学生ばかりに求めずに教職員と学生と一緒に成長して欲しい。
- ・起業した卒業生を招き講話や懇談会を実施したことは、学生の職業意識、起業意識の向上となり評価できる。

2 学校自己評価報告書について

学校自己評価報告書基準	学校自己評価報告書についての評価点の平均		
	自己評価の結果が適切か	改善に向けた取組みが適切か	今後の改善方策が適切か
(1) 教育理念・目標	3.8	3.8	3.8
(2) 学校運営	3.8	3.8	3.8
(3) 教育活動	3.8	3.8	3.8
(4) 学修成果	3.8	3.8	3.6
(5) 学生支援	3.8	3.8	3.6
(6) 教育環境	3.8	3.8	3.8
(7) 学生の受入れ募集	3.4	3.6	3.6
(8) 財務	3.6	3.6	3.8
(9) 法令等の遵守	3.8	3.8	3.6
(10) 社会貢献・地域貢献	3.6	3.6	3.4
(11) 国際交流	3.2	3.2	3.4

3 今後の改善意見

- ・一級建築士コースは大変魅力的であり、大いに期待したい。
- ・重点項目となるビジョンを示し、それを実現すべき中長期の計画を策定する取り組みが必要である。
- ・建設分野で要求する人材像を明確にし各学科の科目内容を整備後、第三者評価制度への計画準備の推進が必要である。
- ・18歳人口減少に向けた少子化対策の一環として、女性の活躍を紹介して女子学生の募集強化の取組みを継続させる必要がある。
- ・最先端の知識や技能を修得するための研修や教員の資質向上のための取り組みが継続的に必要である。
- ・退学者の防止について、面倒見の良い指導を継続していたと思われるが、今まで以上に担任に相談しやすい環境を作る必要がある。
- ・インターンシップなど実習等による授業科目の充実させる必要がある。
- ・社会貢献・地域貢献の一環として、学生ボランティアをはじめ、地域に対する公開講座や教育訓練（資格取得講座）を積極的な取組みは必要である。
- ・校友会各支部の取組みによる情報交換は、コロナが収まりつつあるため積極的に進めることが必要である。
- ・国際化の取組みについて、留学生の受け入れ態勢の整備も進んでいるようであるが、を早急に進めて欲しい。

4 今後の具体的な改善方策

- ・各ビジョンの5年後の到達目標（学校目標）と2021年からの年度目標を作成した。その目標に則り今年度（2023年度）もしっかり実施していきたい。
- ・教育課程編成委員会で継続的に企業ニーズをヒアリングし、カリキュラム編成やシラバスの検討に反映させる。
- ・退学率の低減のため、入学後早期の学生面談や教育懇談会（保護者会）を実施し、家庭と学校（担任）の情報交換がしやすい環境を構築する。
- ・教員のスキルアップにおいては、情報化社会を迎えてBIM・CIM・建設ICT等の各種講習会に参加しやすい環境作りをする。
- ・起業した卒業生を招き講話や懇談会を継続実施し、学生の職業意識、起業意識の向上を図る。
- ・すでに連携協定を締結している各県測量設計業協会・建設業協会での講習会をさらに発展させるとともに、リカレント講座や資格取得講座を計画し開講させる。